

県の福祉医療有料化撤回を



加藤 敏彦 議員

質問

愛知県は、子ども、障害者、母子
父子家庭、75歳以上の寝たきり・認
知症の高齢者を対象に実施している
福祉医療制度(医療費無料制度)に、
患者負担と所得制限する素案を公表
した。平成25年度から定額負担、平
成28年度から所得制限する計画で、
子ども医療の通院の対象年齢拡大は
行なわないなど制度拡充に歯止めを
かけている。
県の福祉医療について、市の状況
と有料化の問題点と影響はどうか。
市の見解は。

市民生活部長

利用状況は、23年度で、子ども医
療費事業(中学3年まで)で、年間平
均受給者数1万203人、母子父子家庭
医療事業で863人、障害者医療事業で
995人、後期高齢者福祉医療給付事業
で1千385人。

影響額は、素案の段階な
で出しかねる。事務の増大が
考えられる。

制度が変わって自己負担が導
入されれば、窓口負担につい
て、立て替え払もあるうかと
思う。市として、見直しによっ
て、自治体の財政負担や格差
が起らないよう県に要望
する。

質問

県は、12年度に負担金を導
入したが、全市町村が負担金
導入を見送ったことから、13
年度に廃止した。
ぜひ弱い立場の人たちの医
療を守っていく立場で頑っ
てほしいが。

市長

今後の動向については、県
下、あるいは近隣の状況を踏
まえながら判断すべきと思
う。

巡回バスの見直し、25年度中に

質問

巡回バスの運行について、
全面的に見直すかと答弁してき
たが、利用者からは、早く改
善してほしいという要望が出
ている。

市として、運行見直しにつ
いて、いつまでに行うのか。
バスの性格として福祉バス
として運行するのか。隣接す
る津島市や弥富市への乗り入
れを行うのか。利用の少ない
地域の対応をどうするのか。
これらの問題について、ど
のように検討されているか。

総務部長

3月中に、巡回バス運行検
討委員会で意見をまとめ、
市長に提言という形で提出
される。

運行見直しは、先延ばしで
きる問題ではないので、25年
度中にスケジュールを示す。
バスの性格づけについて
は、運行検討委員会でまと
めていきたい。市外への乗り入

れになると、関係自治体との
協議も行い、議決要件も必要
になってくる。

